

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	音楽療育特化型事業所リズムストーリー西浦（児童発達支援）				公表日	R8年 4月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		音楽療育プログラムを実施するにあたり、必要なスペースを確保している。	安全面に配慮しながら適切な環境を整えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	音楽療育プログラムを実施するにあたり必要な人員を配置している。	時には人手不足をかんじるときがあるので安全面に配慮しながら適切な支援をこころがけていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		視覚支援を掲示したり、角にコーナーガードを付けている。	そのコーナーガードが不十分なきもあるので安全面に配慮した適切な設備を使用していきたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		清掃を丁寧に、チェックリストに記している。	毎日清掃、消毒を行い、清潔な環境づくりを心がけていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		テラスや面談室などへの使用を認めている。	面談室が使用できない際などテラスへ行きにく
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		日々のミーティングを大切にしている。	変更があれば随時更新し全員で共有していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表をホームページに掲載するとともに、職員間で共有している。	職員間でアンケートに目を通せるようにし、今後もお子様に関わり添った計画を策定いたします。ご不明な事柄に対し、ご相談を承はらえるようしていきたいです。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々のミーティングを大切にしている。	話し合いの場で出た意見は考慮し改善していきたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		音楽療育の母体となる音の森との業務改善の研修をうけている。	業務改善研修に基づき考慮、改善に努めていき
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修動画を視聴し振り返る機会があり良い。	定期的な研修を行い資質の向上を図りたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		次週プログラムの構成をする時間を設けリズム通信でのプログラム公表を行っている。	新しい曲や内容にも取り組んでいきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		複数の職員でアセスメントを行っている。	理解いただけるよう、適切なご説明を心がけながら、定期的な懇談以外にも随時相談に乗って行きたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画は職員間で目を通し疑問点があれば責任者へ伝えている。	目標や支援内容を具体的にわかりやすく示し、全員が目を通せるようにしていきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画に沿った内容をプログラムに取り入れられている。	日誌を書く際に計画が目るようにし、日々計画に沿えるようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の記録を元に作成している。	プログラムの内容が変わることもあるので、その日のこどもの状態に添った支援をしていきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		段階を踏んだねらい、内容になっている。	保護者のお気持ちに関わり添った支援計画をたてるとともに支援に必要な内容を組み込んでいきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		プログラム立案の時間を設けチームで案を出し合いながら作成している。	余裕を持ってプログラムの決定をしたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		同じような取り組みをしているものもあるが子ども達の状況も見ながら考えている。	今後、検討していきたいです。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別と集団を組み合わせた療育を行っている。	体調やニーズに合わせ、迅速な対応が行えるようにしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝のミーティングにて情報共有を大切にしている。	連絡帳や送迎時に情報伝達ができるよう丁寧な伝達を心掛けたいです。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		翌日になるが前日の療育を振り返る時間を作っている。	リスト通信を通じ、プログラムの内容や必要事項の発信にも力を入れていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		記録の抜けが無いしっかり確認している。	日誌や専門の記録を細かく記入し、複数の目で抜けが無いよう見えています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリングが必要な子どもを共有したり定期的に見直しを行っている。	半年にの懇談以外にも、保護者の要望がある際には計画の見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		子どもの状況を職員間で共有し管理者が参加している。	日程の調整をして1番わかる人ができるようにします。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	連携できる体制は整えている。	学校や保育園との話し合える時間を伸ばしていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	他事業所との支援の共有など話し合いを行い、園などは送迎時のお話で共通の認識が持てるようにしている。	今後は支援計画の共有も検討していきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	定期的に会議する時間を設けていただき相互理解を図っている。	学校や保育園との話し合える時間を伸ばしていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5	検討中です。	今後、検討していきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	検討中です。	今後、検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日々の送迎時や連絡帳でのコミュニケーションを大切にし連絡帳の返事忘れが無いようにしている。	少ない時間でもしっかりと内容を伝えていきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	検討中です。	今後、検討していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		重要事項説明書を見ながら説明し、同意を得ている。	分からないことがあれば、その都度説明していきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		懇談の時間を設けたり、LINEや電話でお話している。	いつでもお伺いできるようないせいを整えていきたい。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		支援計画に目を通していただき変更がない場合署名捺印をいただいています。	支援計画に改善点があった場合速やかに改善していきたい。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		LINEや電話、送迎時に対面などで相談されたことは職員間で情報を共有している。	相談事など速やかに支援計画に取り入れ支援の変更を行ってきたい。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	検討中です。	今後、検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談や連絡内容を記録している。	職員間の共有とともに支援方法の見直しを行っていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		活動内容を定期的な通信で発信したり、お手紙を発行している。	今後も個人情報を守りながらHPやSNSなど発信していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		配布物の管理に気を付けている。	今後も注意していきたい。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		視覚支援を用いたり対応した内容を共有している。	保護者と送迎時の連絡だけでなく、ラインなども使って意思の疎通をはかっていきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	検討中です。	今後、検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルは定期的に見なおし、定期的に訓練や研修をおこなっている。	訓練や研修の時間を増やしていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		訓練で出た課題を考えられるようにしている。	訓練の時間を増やし色々な装丁での訓練を心掛けていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		子ども達の情報や重要事項などをまとめた一覧表を掲示している。	最新の情報を確認し一覧表を更新していきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		冷蔵庫にアレルギーなど注意すべき子どもの情報を掲示している。	最新の情報を確認し一覧表を更新していきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		定期的に訓練や研修をおこなっている。	安全計画の更新を行っていきたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		定期的に訓練を行うとともに備品の確認をしている。	保護者への周知に力をいれていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		日々のミーティングにヒヤリハットを取り入れ背景や原因、対応に着目している。	ヒヤリを改善していけるよう取り組んでいきたい。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的にテーマに添った研修をおこなっている。	回数を増やしていきたい。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		重要事項に記載し同意を得ている。	今後検討していきたい。	